



『～より質の高い公共調達を目指して 良い仕事をした者が報われる仕組み作り～』

－記者発表資料－

平成25年2月18日

四国地方整備局

平成24年度 第3回

四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果

●平成24年度第3回四国地方整備局本局小委員会の開催結果について

平成24年度第3回四国地方整備局総合評価本局小委員会を平成25年2月13日に開催し、平成24年度の総合評価方式による工事70件について提示し、その中から委員により抽出していただいた代表工事3件について具体的な総合評価内容の説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、平成24年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等45件について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

【主な意見の概要】

- ・契約結果等について、落札者の加算点獲得率が上昇しており、品質確保、品質向上の面において望ましい傾向にある。ただし、競争圧力の増大により管内の低入札数が増加していることには、今後とも注視していく必要がある。
- ・技術提案評価については、個別の提案内容に関する優劣の評価基準が適切に設定、運用されている。

本局小委員会の概要

1. 日時：平成25年2月13日（水） 10:00～12:00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎 13階 災害対策室
3. 出席委員：松島学委員、木原茂委員
4. 議事次第・・・別紙－1
5. 議事概要・・・別紙－2

<問い合わせ先> 国土交通省 四国地方整備局 企画部

技術管理課長 石田 和敏

(内線3311)

技術管理課長補佐 門田 隆志

(内線3314)

日時：平成25年2月13日（水）10:00～12:00

場所：高松サンポート合同庁舎13階災害対策室

**平成24年度
第3回 四国地方整備局総合評価本局小委員会**

議 事 次 第

1. 開 会

2. 報告事項

- 1) 平成24年度の総合評価落札方式による契約結果等について ・ ・ 資料－1

3. 審議事項

- 1) 平成24年度の適用工事・業務（本官契約）について ・ ・ 資料－2
- 2) 具体事例について【委員による抽出：3件程度】
- ・ 平成24－27年度 鹿野川ダム選択取水設備施設外新設工事（河川部） ・ ・ 資料－3
 - ・ 平成24－25年度 土居高架橋上部工事（道路部） ・ ・ 資料－4
 - ・ 高知港三里地区防波堤（南）災害復旧工事（港湾空港部） ・ ・ 資料－5

4. 閉 会

平成24年度第3回四国地方整備局総合評価本局小委員会
開催結果の概要

日時：平成25年2月13日 10:00～12:00
場所：高松サポート合同庁舎 13階 災害対策室

出席委員 松島委員、木原委員

I 報告事項

1) 平成24年度の総合評価落札方式による契約結果等について

II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事（総合評価方式）及び業務等（総合評価方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、平成24年度の総合評価方式による工事70件（本官契約工事）について評価項目の内容等を提示。

また、平成24年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等45件（本官契約業務）について提示。

【工事関係】 平成24年度対象工事

本官（本局）契約工事

H24. 12. 31基準日

	開札済み	手続き中	準備中	合計	備考
標準型（Ⅰ型）	1件	0件	0件	1件	平成23年度 実施方針
小 計	1件	0件	0件	1件	
高度型	0件	0件	0件	0件	4月期 実施方針
標準型（Ⅰ型）	23件	4件	2件	29件	
標準型（Ⅱ型）	11件	0件	1件	12件	
簡易型	1件	0件	0件	1件	
簡易型（施工計画を求めない）	16件	0件	0件	16件	
小 計	51件	4件	3件	58件	
技術提案評価型（A型）	0件	0件	0件	0件	10月期 実施方針
技術提案評価型（S型）2テーマ	2件	2件	0件	4件	
技術提案評価型（S型）1テーマ	1件	2件	0件	3件	
施工能力評価型（Ⅰ型）	0件	0件	0件	0件	
施工能力評価型（Ⅱ型）	2件	0件	2件	4件	
小 計	5件	4件	2件	11件	
総 合 計	57件	8件	5件	70件	

		開札済み	手続き中	準備中	合計
業務	プロポーザル方式	24			24
	総合評価方式	20			20
役務	企画競争方式	1			1
合計		45	0	0	45

Ⅲ 主な意見の概要

- ・ 契約結果等について、落札者の加算点獲得率が上昇しており、品質確保、品質向上の面において望ましい傾向にある。ただし、競争圧力の増大により管内の低入札数が増加していることには、今後とも注視していく必要がある。
- ・ 技術提案評価については、個別の提案内容に関する優劣の評価基準が適切に設定、運用されている。